

Think Ahead



弊社は昨年度、新しい品質環境方針「Think ahead・地域社会と地球環境に貢献する」を 掲げました。「Think ahead」には、「その先を考える・先を読む」という意味があります。 これまで、建設・環境両事業間のシナジーを発揮させ付加価値を創出する独自の事業運営システム 「e Synergy System」を通じて、地域社会や地球環境へ貢献するべく業務に邁進してまいりました。 今後は SEIYU の技術や経験を次世代へとつなげ、未来を担う全ての人たちのために、来る 2020 年に向けて持続可能で地球環境にやさしい都市更新を支えていける企業を目指したいと いう思いをこめています。

一方で昨年度は、西日本を襲った平成 30 年 7 月豪雨、関西空港が一時使用不能となるなど関西地方に大きな被害をもたらした台風 21 号、さらには大規模停電などの重大被害をもたらした北海道胆振東部地震など、大規模自然災害が立て続けに日本を襲ったことは記憶に新しいところです。首都圏は直下型地震の発生が警戒され続けており、弊社の事業基盤である西多摩地域は降雨や積雪により孤立する山間部でもあります。弊社は、地域特性を熟知した人員および重機等を保有する「地域の守り手」としての役割を改めて認識し、積極的に活動を行うとともに、被災地へ可能な限りの支援を行ってまいりました。

戦後の高度経済成長期から半世紀経ち、都市インフラは次世代へと生まれ変わる、都市更新の時代を迎えています。劇的に変化し続ける東京の都市更新に対し、SEIYUの技術を必要としていただけることへの感謝と、これからも発生が予想される自然災害から人びとを守る責任の重さを実感しております。

弊社は、品質環境方針「Think ahead・地域社会と地球環境に貢献する」のもと、都市更新を下支えするとともに、その先を考え地域社会・地球環境に貢献できる次世代の人材を育て、持続可能で地球環境にやさしい企業を目指すべく、引き続き CSR 活動に取り組んでまいります。

本報告書では、健全な企業活動の礎であるコーポレートガバナンス・コンプライアンスなどの 社内体制、「e Synergy System」の仕組みから始まり、「成友 = とも(友)だちにな(成)ろう」を キーワードに、環境への取り組み、ステークホルダーの皆様との社会的な関わり、ならびにその他 企業活動について説明しています。ぜひご一読いただき、皆様の率直なご意見をお聞かせいただけ ますようよろしくお願い申し上げます。

代表取締役

細沼 順人

(編集方針)

1 SEİYU

この報告書は弊社に関係する皆様に、弊社の社会に対する企業活動を平易な表現で公開することを目的に作成しています。 成友興業株式会社 CSR 報告書は 2013 年 5 月に初版として発行されました。今回の 2019 年 1 月の発行で第 7 版を 数えます。本報告書を通じて、弊社の CSR 活動をご理解いただければ幸いに存じます。 会社概要 (平成 30 年 9 月 30 日現在)

商号成友興業株式会社設立昭和50年3月12日本社東京都あきる野市草花1141-1資本金293,775 千円事業内容建設事業舗装工事業
土木工事業環境事業産業廃棄物処理業

汚染土壌処理業

従業員数 220 名

子会社 成友セキュリティ株式会社

東京都福生市福生 699-3

事業所

東京本店 (東京都中央区)

多摩西事業所 (東京都あきる野市)

多摩北事業所 (東京都武蔵野市)
東京南事業所 (東京都大田区)

埼玉西事業所 (埼玉県所沢市)
あきる野事業所 (東京都大田区)

城南島第一事業所 (東京都大田区)

城南島第二事業所 (東京都大田区) 福生営業所 (東京都福生市)



目 次

社是・トップメッセージ	1
会社概要	2
マネジメント体制 企業価値の向上のために	3
e Synergy System 環境に配慮した建設事業モデル	5
地球と、ともだちになろう。 環境のために	7
社会と、ともだちになろう。 社会のために	g
地域と、ともだちになろう。 地域のために	1
安全と、ともだちになろう。 安全のために	1
社員と、ともだちになろう。 社員のために	1
トピックス	1

有識者意見・編集後記

18

| H26.9月期 | H27.9月期 | H28.9月期 | H30.9月期 | H30.9月期 | SEİYU 2

Corporate Governance

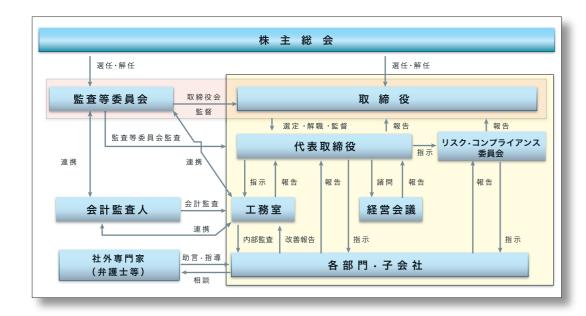
企業統治(コーポレートガバナンス)

弊社のコーポレート・ガバナンスに対する基本方針は、企業価値の継続的な向上を実現するために、効率的かつ公正で透明性の高い経営および経営監視機能の強化を目指すとともに、法令遵守の徹底および迅速かつ正確に説明責任を果たすことにより、全ての利害関係者(ステークホルダー)の皆様から信頼される会社となることです。

この方針のもと、弊社はコーポーレート・ガバナンス体制のより一層の強化を図るため、平成30年12月の 定時株主総会において、監査等委員会設置会社に移行いたしました。

また弊社は、会社法に基づく機関として、株主総会、取締役会、監査等委員会および会計監査人を設置するとともに、日常的に事業を監視する役割として工務室を設置しております。さらに外部の視点からの経営監視機能を強化するため、社外取締役(監査等委員)2名を選任しております。

これら各機関の相互連携により、経営の健全性・効率性を確保してまいります。



Compliance

法令・規範等順守(コンプライアンス)

コンプライアンスには、法令の順守は当然として、各社員が倫理的に正しい判断を行うことが第一に 求められます。

弊社は平成30年9月にリスク・コンプライアンス委員会を設置し、外部講師による勉強会を行うなどの活動を通して、コンプライアンス体制の構築・維持、意識の向上に努めております。

ISO system certification

ISO システム認証

ISO(国際標準化機構)により制定された品質マネジメントシステム規格(平成 13 年 5 月認証取得) および環境マネジメントシステム規格(平成 21 年 2 月認証取得)に基づき、マネジメントシステムを構築し運用しています。

平成 27 年に ISO により新規格へ移行された、品質および環境マネジメントシステム規格について、 平成 29 年 12 月に行われた日本品質保証機構 (JQA) の第三者審査の結果、その新規格への適合認証も 得られました。

今後も、顧客のニーズと期待に応えるとともに環境保全に貢献するべく、マネジメントシステムを活用し、 継続的な改善活動を会社全体で図りながら企業価値の向上につなげております。

The only license for treatment of the contaminated soil in Tokyo Metropolitan Area 東京都で初の汚染土壌処理業

平成15年に土壌汚染対策法が施行されて以降、築地市場の豊洲移転における土壌問題をはじめ、土壌汚染が環境問題として広く認識されるようになりました。弊社は東京都で初となる、土壌汚染対策法に基づく汚染土壌の処理業許可を取得した企業です。城南島第一事業所(平成23年処理業許可取得)、城南島第二事業所(平成28年処理業許可取得)では、汚染土壌の適正処理を通じて、引き続き土壌環境の改善に貢献してまいります。

The JIS certification for recycled aggregate H for concrete

コンクリート用再生骨材 H の JIS 認証取得

弊社は、国内で初めて再生骨材 H の JIS 規格の認証を取得しました。城南島第一事業所で生産する再生骨材のうち、再生粗骨材 (5mm 以上 20mm 以下) が平成 23 年 9 月に、日本品質保証機構 (JQA) から JIS 認証 (JISA5021 区分 A) を受けました。これは全国初の認証取得であり、今後の都市更新において更なる利用拡大が期待されます。

再生骨材Hは、使用骨材の履歴が明らかなコンクリートがら・戻りコンクリートを破砕し、加熱すりもみ方式による高度処理を行うため、バージン材 (天然骨材)と同じように普通コンクリートの材料として構造物にも使用することができます。

現在東京都では持続可能な資源利用への取り組みとして 3R 促進をはじめとする環境負荷低減に向けた取り組みを推進しています。そのため再生品でありながら普通コンクリートとして構造物に使用できる再生骨材Hに対する関心は高く、2020年にボート・カヌー競技で使用予定の「海の森水上競技場」等で使用されています。

これからも製品の品質管理体制を強化して、顧客の需要に応えてまいります。

Awarded road buildings

建設部門の受賞など

弊社は、首都圏の道路工事を中心とした各種工事を受注しております。

その中には平成30年7月に東京都建設局長から4年連続となる表彰を受けた事例や国土交通省をはじめ、 発注元より高い評価をいただいた事例が多数あります。

また発注元の意図をくんだ施工体制で、近隣住民へも配慮する姿勢等が認められ、東京都の建設事務所より 感謝状をいただいた事例や、各業界団体からもその施工実績が認められ表彰を受けた事例もあります。

今後も質の高い施工を心がけてまいります。



街路築造工事のうち歩道舗装工事 その2 (28 北南 - 三鷹 3・2・6) 東京都三鷹市



遮熱性舗装工事その l 東京都中央区



歩道設置工事及び電線共同溝設置工事 (27 北北 - すいすい喜平橋交差点) 東京都小平市



路面補修工事(29 西の 15) 東京都福生市

e Synergy System

e synergy system とは、environment(環境事業)と engineering(建設事業)の synergy(相乗効果)で、 環境に優しく、高品質なサービスの提供を実現するシステムのことです。

建設現場で発生するコンクリートがら、汚泥、汚染土壌といったものを自社プラントで建設資材にリサイクルし、また建設現場へと戻す。さらに、汚染土壌等の指定調査機関事業並びに計量証明事業という2つの事業(環境ソリューション事業)を加え、開発工事における現地調査から分析までのコンサルティング、建設工事における掘削から運搬、建設産業廃棄物や汚染土壌の処理、さらに、土壌の埋戻し、再生砕石の搬入・仕上げ、建物の外構・舗装工事等の業務を行えるワンストップ体制を整えております。この環境に配慮した仕組み「e synergy system」を事業の中心に据え、リサイクルシステムを自社に兼ね備えた真の道路メーカーを目指してまいります。

環境に配慮した 建設事業 モデル

environment & engineering Synergy System

Think Ahead

Quality & Environment Policy 品質環境方針

地域社会と地球環境に貢献する。

Safety & Health Policy 安全衛生方針

考えて、行動しよう。

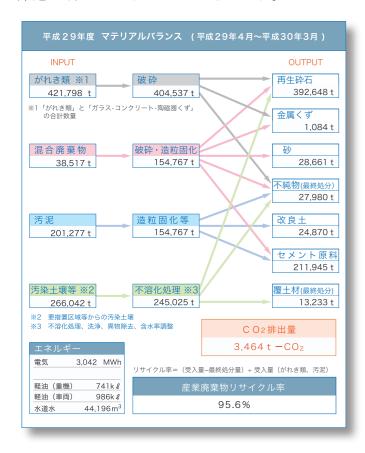


5 SEİYU 6

Material balances マテリアルバランス

弊社のプラントでは、電力や燃料、水といった エネルギーや資源を消費して建設廃棄物や汚染 土壌のリサイクルを行っています。

マテリアルバランスとは、事業活動に伴うエネ ルギーや物質の収支を意味し、それらを数値に よって明示することで、事業活動の環境負荷や 課題を明らかにするためのものです。



Environment Monitoring at the plants

事業所における環境モニタリング

あきる野・城南島第一・城南島第二の3事 業所では、地元自治体と環境保全協定書を 交わし、これらの協定に基づいて日常の公害 防止と定期的な環境モニタリングに努めて います。モニタリングの測定項目には自主的に 設定した項目を追加しています。具体的な測定 項目は表に示すとおりで、その結果には基準値 超過などの問題はありません。詳細はp10で 紹介している「産廃情報ネット」の弊社ページ にある、「優良産廃処理業者認定制度に係る 公表事項」内の「直前3年間の処理施設の維持 管理の状況」に提示していますので、ご覧 ください。

The transition of the intensity of CO2 emission

CO₂ 排出量(原単位)の推移

図は、直近5ヶ年度(4月~3月)の弊社環境3事業所 (あきる野、城南島第一、城南島第二)におけるプラント 処理量の推移を折れ線グラフで、処理量千tあたりの CO₂ 排出量 (原単位:CO₂t/処理量千 t)を棒グラフで それぞれ表現したものです。

CO₂ 排出量原単位は昨年度に比べて反転増加して います。プラント処理量は増加しましたが、処理 能力に比べて増加率は小さく、城南島第二事業所の もつスケールメリットが十分に活かされていないと 考えられます。今後は各事業所の安定稼働による業務 改善に努め、CO₂排出量原単位の削減を目指します。



分 野		項目	あきる野事業所	城南島第一事業所	城南島第二事業所
大気		アスベスト測定	年1回	年1回	年1回
		ばい煙(ばいじん・窒素酸化物)	_	年2回	_
		ばい煙(降下ばいじん)	_	年1回	_
		粉じん (浮遊粉じん)	_	3ヶ月に1回	3ヶ月に1回
		粉じん (第二種有害物質) ※セレンを除く	_	3ヶ月に1回	3ヶ月に1回
水質	地下水	砒素・ふっ素		3ヶ月に1回	
		第一種・第二種・第三種特定有害物質 BOD、COD、SS	_		3ヶ月に1回
	排水	第二種特定有害物質(アルキル水銀含む) BOD、COD、SS	_	3ヶ月に1回	_
	护小	第二種特定有害物質、銅、亜鉛 pH、SS、T-Cr、s-Fe、s-Mn(※)			1ヶ月に1回
騒音・振動		(単位 dB)	月1回	月1回	月1回
再生砂·再生砕石		六価クロム溶出試験	月1回	月1回	_
汚染土壌等処理後物		土壌分析試験(溶出量(26項目) 含有量(9項目))	_	月1回	月1回

※ BOD: 生物化学的酸素要求量 s-Fe::溶解性鉄 SS:浮遊物質量

COD: 化学的酸素要求量

T-Cr:総クロム s-Mn:溶解性マンガン

Modal Shift モーダルシフト

弊社は不溶化処理済土壌の再処理施設として全国各地にある大手セメントメーカーの各工場と 契約しています。運搬業務により排出される CO2 を削減するため、長距離運搬の際には 船舶も併用しています。

また従来は輸送コストがネックとなり、全国各地のリサイクル資源が広域的に利用 されていませんでしたが、このモーダルシフト(輸送手段の転換)により輸送コストの 低減も図れます。

幣社は、平成25年5月に策定された第三次循環型社会形成推進 基本計画のもと、自治体・東京スーパーエコタウン内企業の協力を 受け、産業原燃料の広域共同海上輸送システムの構築実証事業を 行うなど、必要な資源を全国単位で供給できる システムの構築を目指しています。

Training session for Eco-Driving エコドライブ講習会

平成29年9月、10月に城南島第一事業所にてエコドライブ講習会(主催:成友興業株式会社 共催:公益 財団法人交通エコロジーモビリティ財団、UDトラックス株式会社)が行われました。

通常走行と省エネ走行を実際に行い、その差を実感することでエコドライブへの意識向上に繋げています。 エコドライブを常日頃から徹底することは、燃費を向上させ CO2の排出を低減する等、地球温暖化対策、 大気汚染物質の発生抑制への貢献のほか、安全運転にも繋がっています。





SEIYU

城南島

7 SEIYU

Welcoming the visitors to our plants

施設見学受入

弊社では皆様にリサイクル事業への理解を深めていただく一助となるべく、可能な限り見学希望にお応え しております。

城南島第二事業所では、東京都環境局主催のスーパーエコタウン見学会をはじめ、行政機関、業界団体、 建設会社、設備企業、さらには海外からも多くの見学希望が寄せられます。平成 29 年度は約 600 名の 見学者を受け入れました。

施設見学では、普段見る機会のない最新鋭の処理施設を見学いただくほか、環境分析センターにて行われている品質分析についても説明・見学を行う事で、多くの方に業界及び環境問題について理解を深めていただいております。





Internship for the students

学生インターンシップ

弊社では内定者や入社希望の学生に対してインターンシップを行っております。弊社の業務に触れてもらい、 弊社の地域社会や地球環境への取り組みを実感することで、より身近に感じてもらえればと考えております。 今後も積極的に進めてまいります。





Collection of used postage stamps, etc.

使用済み切手その他の回収

弊社が団体会員となっている、社会福祉法人あきる野市社会福祉協議会では、福祉活動資金の一部として、使用済み切手を収集し、ボランティアの手によって剥がして整理したものを収集家向けに売却しています。弊社も業務で受け取る郵便物に使用された切手を回収して当協議会へ提供しています。

その他、ベルマーク、ペットボトルのキャップなどの収集も行っています。集めたベルマークや キャップは弊社が加盟している一般社団法人東京都産業廃棄物協会を通じ、東日本大震災で被災 した学校や児童への支援に使用されています。

Publication of the information of the industrial waste disposal 産業廃棄物処理業者情報の公開

公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団の「産廃情報ネット」にて、弊社の情報が公開されています。 トップページの「産廃処理業者検索」にて、業者番号「009089」または、処理業者名を入力することで ご覧いただけます。また、弊社は環境省から優良産廃処理業者に認定されていることから、同省が運営する 「優良さんぱいナビ」にも掲載されています。





Column

建設局長表彰

平成30年6月に平成30年度東京都建設局優良工事等表彰式において、東京都建設局長表彰を2件受賞しました。今回の受賞で4年連続となります。本表彰は、優良な成績および下記条件等を総合的に判断し選考されております。

- 1. 特に困難な施行条件を克服して工事等を完遂したもの
- 2. 施行にあたっての熱意・創意工夫等が特に優れ、他の模範となるもの

今回優良工事として表彰を受けたのは、「街路築造工事のうち歩道舗装工事その 2」(三鷹市 武蔵境通り)、「歩道設置工事及び電線共同溝設置工事 (27 北北 - すいすい喜平橋交差点)」(あきる野市 喜平橋交差点)の 2 つとなっております。







Cleaning activities (Construction Site)

清掃活動(建設事業工事現場)

日頃、弊社にご理解・ご協力いただいている近隣の皆様のご好意に応えるべく、本社・事業所・各工事 現場の周辺で清掃活動を行っています。状況に応じて道路清掃車を使用し、人の手の及ばない箇所まで 広範囲な清掃をしています。





Positive participation in local events

地元行事への積極的な参加

秋川駅前通りで毎年行われているあきる野夏祭りや、事業所に隣接した神社の例大祭において神輿の担ぎ手 として参加しています。また、4 日間かけて盛大に行われる福生七夕祭りにも毎年協賛しています。





Participation in emergency drills

防災訓練への参加・AED の設置

防災には地域との連携が重要であるという考えから、地域の防災訓練には積極的に参加しています。 東京スーパーエコタウン協議会及び防災協定企業による共同防災訓練、また、東京本店が入居している ビル内での防災訓練等に参加し、非常時の避難経路の確認や、AED の取り扱いについての実習を交えた講習を 行いました。また、万一の場合に備え、全事業所に AED を導入し、本社では入口に設置する等、社員 だけでなく近隣の皆様にも使用していただけるようにしています。





Snow-removal work 除雪活動

毎年積雪時は、本社前および各事業所周辺にて除雪活動を 積極的に行うように心がけています。また除雪作業にも用いる ことのできる小型のタイヤショベルも導入しています。

今後も積雪時には日頃お世話に なっている地域の皆様の利便を 第一に除雪作業に当たってまいり ます。





Agreement of countermeasures against disaster and Business continuity plan 災害対策協定及び BCP(災害時の事業継続計画)

弊社では、平成 25 年度に東京都産業労働局の支援のもとで BCP(災害時の事業継続計画)を策定し、平成 30年 1月には国土交通省関東地方整備局で推進している「建設会社における災害時の基礎的事業継続力認定」を 受けました。下記 URL に認定企業の一覧があり、弊社は東京都の No.114 に記されています。

http://www.ktr.mlit.go.jp/bousai/bousai00000159.html

弊社の BCP は、発災時に社員及びその家族の安否確認を行うとともに、国道事務所や各地方自治体と締結 している災害対策協定に基づく被災地の道路啓開を率先して行い、近隣住民の皆様の利便を図ることを主目的と しています。

Offering the evacuation site 避難場所の提供

本社は、あきる野市青少年健全育成地区委員会が取り組んでいる「がくどうひなんじょ」事業での、 緊急避難場所となっております。子どもたちが犯罪に巻き込まれそうになったときや、困ったことが 起きたときにすぐに助けを求め、避難できるように正面玄関にプレートを掲示しております。

また、大雨災害時における地域自治会での一時避難場所にもなっております。今後も地域の皆様の安心、 安全な生活のために尽力していきます。



危険防止処置がとられているかを常にチェックしています。

Safety patrol 安全パトロール

成友興業安全衛生協力会とともに、現場の安全パトロールを月 1~2 回実施し、危険な場所がないか、

役員によるパトロールも年 2 回行っており、社員の安全意識の向上に繋げています。





Seiyu Security 成友セキュリティ

弊社子会社の成友セキュリティ株式会社は、工事現場周辺の交通整理や、雑踏警備などで豊富な実績を 有しています。また、平成27年11月には吉祥寺事業所、平成30年7月には池袋事業所を開設し、より 広域のお客様に対応できるようになりました。成友セキュリティ株式会社との連携により、工事現場での 警備員との意思疎通がスムーズになり、社内の安全意識の向上にも役立っています。





Preparation & Checking of the facilities and machines 機械設備や重機等の整備・点検

安全作業を行うためチェックリストを用いて機械設備、重機の整備点検を行っています。

ダンプトラックでは日常点検をはじめとした整備・点検を行うことで、整備不良事故ゼロを目指し、 安全運転 に努めています。







Safety education using event data recorders

安全規則とドライブレコーダーによる安全教育

通勤時、もしくは現場へ自動車で移動する際の規則として「成友興業安全運転規則」、ドライバー職に対しては独自の「プロドライバーとしての安全運転 10 則」を定め、安全運転を徹底しています。

また、安全の向上を図ることを目的として、全てのダンプトラックにドライブレコーダーを設置し、運転状況を記録しています。その記録は、安全担当者が常にチェックするとともに、安全運転の研修材料として活用することで、安全運転への意識を高めています。

また、ダンプトラックだけではなく営業車両へのドライブ レコーダーの導入も進め、ほぼ全車両に導入されています。



「成友興業安全運転規則」

- ・かもしれない運転の徹底
- ・右左折時最徐行
- ・車間距離 0102
- ・バックは急ぐな先ず確認

「プロドライバーとしての安全運転 10 則」

- 1. 法定速度・制限速度の遵守
- 2. 飲酒運転の禁止
- 3. 一時停止は止まれ・右左折時最徐行
- 4. 車間距離の確保 0102
- 5. 停止車間距離は一車長確保
- 6. 信号機・黄色は止まれ
- 7. 停止時はサイドブレーキを確実に引く
- 8. 無線機の私語は厳禁
- 9. バックは先を急ぐな先ず確認
- 10. かもしれない運転の徹底

Safety Promotion ,etc. 安全推進大会など

各事業所では、安全衛生に関する協議会を毎月実施しています。また年に一度、社員と成友興業安全衛生協力会会員との合同安全推進大会を開催しています。

直近の安全推進大会は、平成30年6月に新宿ワシントンホテルにて社員および協力会社等総勢約210名 出席のもと、安全訓話、安全表彰、安全宣言などを行い、OFFICEアイム代表 森川あやこ様による特別講演 「安心・安全な現場・職場づくりに欠かせない心をつなぎ絆を結ぶコミュニケーション実践法」が行われました。

また昨年に続き安全標語の募集・表彰が行われ、約300点の応募の中から最優秀賞1点、優秀賞3点が選ばれました。

最優秀賞 『気付いたときにすぐ改善 みんなで考え ゼロ災害』







SEIYU 14

13 **SEİYU**

Employees' training 社員研修

弊社では、建設事業と環境事業という 2 つの主要事業があることから、職種に合わせた社員研修を行って おります。建設事業は建設業法等の規制、環境事業は廃棄物処理法、土壌汚染対策法等の規制を受けており、 各業務を行うにあたっては専門的な知識が必要となります。

社員の所属や職位などに応じた教育を行い、社員の知識・技術レベルの向上を継続的に図ることで、法令の 順守や事故の防止を徹底しています。

新入社員教育

入社後、社内 (OJT) と社外 (Off-JT) 合わせて約 6 ヶ月間の研修を行っています。技術系社員(土木施工 管理)に対しては、社内で先輩社員によるマンツーマンでの指導を4ヶ月、社外(専門の教育訓練機関)で 土木基礎の講義と実習を 2 ヶ月行っています。事務系社員に対しては、マナーや業務に係わる法律等に関する 新社会人向けセミナーも実施しています。

資格取得の奨励

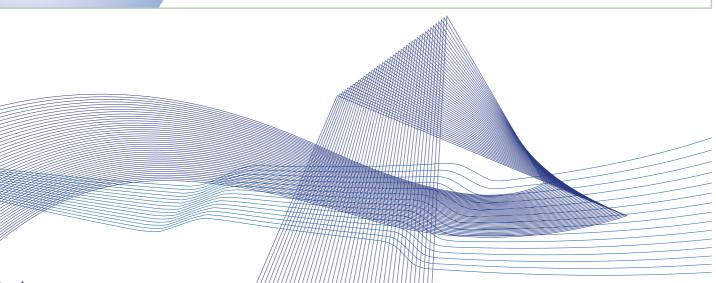
弊社では業務に必要な資格の取得を奨励しています。 資格取得のために社内研修を実施するとともに、各種 検定試験の受験準備講習会などの外部研修も、積極的に 受講できる体制づくりを行っています。

環境啓発教育

若手社員向けのマニフェスト講習を社内で 行うほか、東京都環境局主催の産業廃棄物適正 処理説明会や、アスベスト適正処理の講習会 等を受講しています。

各種講習会への参加

一般社団法人東京建設業協会をはじめとする各種加盟団体や、東京都など自治体が主催する講習会等に 積極的に参加できるよう努めています。若手社員フォロー研修会や産業廃棄物処理に係る基礎講習会、安全 衛生研修会など、様々な役職・職種の社員がスキルアップのための講習を受けられるようになっています。



Licenses of the employees

保有資格

社員の保有資格一覧(平成29年9月30日現在)						
資格名	人数	資格名	人数			
1・2 級土木施工管理技士	50	環境計量士(騒音・振動関係)	1			
1.2 級造園施工管理技士	5	土壌汚染調査技術管理者	2			
1・2 級舗装施工管理技士	8	東京都1・2種公害防止管理者	5			
廃棄物処理技術管理者 (中間)	8	エネルギー管理員講習受講者	1			
廃棄物処理技術管理者(破砕)	6	1種衛生管理者	5			
大気関係第2種公害防止管理者	1	運行管理者	10			
水質関係第2種公害防止管理者	2	防火管理者	1			
ダイオキシン類関係公害防止管理者	1	安全管理者	2			
技術士 (資源工学部門)	1	危険物甲種	1			
環境計量士 (濃度関係)	1	品質管理責任者	3			

BBQ party for the new employees 新入社員懇親バーベキュー

毎年 4 月に新入社員懇親バーベキューを行って います。社長をはじめ各事業所の若手社員も参加し、 親睦を深めています。



Health maintenance for employees 社員の健康維持のために

協力会社の方々も含め、毎年 11 月にインフル エンザの予防接種を実施しています。

また、血圧計を各事業所に配備し、社員が自由に 計測できるようにしています。



Golf club ゴルフ部会

有志によるコンペが 3ヶ月に 1 度の頻度で 行われており、社員間の親睦が図られています。 その他にも創業日が含まれる 3 月に創立記念 ゴルフコンペが行われています。



Award for employees 社員表彰

永年勤続および業績表彰、安全表彰の各制度を 設けています。





The opinion by a learned person _{有識者意見}

Acquisition of the standard certification of Tokyo brand "Smart eco-stone" 「東京ブランド"粋な"えこ石」基準認証取得

平成29年10月4日(金)一般社団法人東京都産業廃棄物協会(高橋俊美会長)、一般社団法人東京建物解体協会(高山眞幸会長)、一般社団法人東京建設業協会(飯塚恒生会長)の3団体と、3団体で構成する再生砕石問題ワーキンググループ(永井文男座長、細沼順人副座長(弊社代表取締役)が提案した民間基準「東京ブランド"粋な"えこ石」が、東京都環境局より「基準認証」を取得しました。これは、従来の路盤材以外での利用用途の拡大を目標として、下記3点の考え方に基づき、使って安全・安心な高品質再生砕石の品質基準を策定したものです。

- 1) 従前は定められていなかったが、設定可能なものは数値目標を定め、これまで以上の品質を実現する。
- 2) 開示されることで品質のばらつきやリスクを回避しやすくなる性能については情報開示を行う。
- 3) これまで以上に体系的に品質管理を実施するための自主ルールを定める。

また、東京都では、今後ビルの建替えや解体等により大量発生が見込まれるコンクリート塊の再生利用の拡大を目指し、平成 29 年 5 月に再生砕石利用拡大支援制度を立ち上げました。この再生砕石利用拡大支援制度に基づき、環境局長が再生砕石を使用する工種及び材料に応じて、「優位性が認められる品質基準である」として本基準が認証されました。





First acquisition of the facility certification for Tokyo brand "Smart eco-stone" 「東京ブランド"粋な"えこ石」で初めての施設認証取得

上記の再生砕石民間基準「東京ブランド"粋な"えこ石」の最初の製造施設として、弊社城南島第一工場が 認証を取得しました。(対象:「東京ブランド"粋な"えこ石」の内、路盤材、グラベルコンパクション材、 裏込材の3種)

これを受けて、平成 29 年 12 月に公益財団法人東京都環境公社 (錦糸町本社)にて「施設認証取得証」 交付式が行われました。





The opinion by a learned person

持続可能な社会を実現するうえで、資源の循環的利用は欠かせない要件です。循環型社会形成推進基本法における 資源の循環的な利用及び処分の基本原則では、優先順位は、①発生抑制②再使用③再生利用④熱回収⑤適正処分 とされています。

これを建築物についてみると、コンクリートは高い機能性・経済性を有する建設材料として大量に使用されていますが、その寿命は50年前後と言われており、また、高度成長期に製造されたコンクリートには、アルカリ骨材反応や塩害などによってひび割れや剥離といった劣化が生じたものもあり、取壊しを余儀なくされるものが毎年多数出ています。さらに、2020年にオリンピック・パラリンピック、2025年には大阪万博の開催が決まったことから、建築物の建替えも目白押しで、発生抑制、再使用には限界があるといわざるを得ません。社会的には資源の循環的利用を目指すといいながら、実際には、取壊しや建替えなどから、膨大な量の建設廃材が生じているのが現実です。そのようなことから、産業廃棄物の全排出量のうち約2割を占める建設廃材、特に、廃コンクリートについては

リサイクルが大きな環境問題とされ、再生利用の道が模索されてきました。かつては、廃コンクリートを破砕して 路盤材や海面埋立用材として再利用されていましたが、道路建設等の工事そのものが減少傾向にあり、その利用 方法には限界があります。

成友興業では、廃コンクリートの再生利用の道として、コンクリート用再生骨材 H という構造物へ使用できる 高品質の再生骨材を開発し、JIS 取得をしました。また、再生利用が難しいとされていた廃セメントについても、 セメントペーストを含む微粉を土壌改良剤として利用し、100%リサイクルを可能にしました。土木工事に関する 汚泥、汚染土壌についても、炭酸マイクロバブル洗浄という環境に配慮した技術を有しており、資源の循環的な 利用を行っています。自社で行った建設工事等から生じた建設廃材を、自社において再生

利用可能とし、それを自社の建設工事等に利用していくということは、まさに、資源の 循環的利用の見本といえるすばらしいシステムだと思います。

もっとも、技術開発は日進月歩といわれますから、成友興業には、ますます果敢に、より高い目標にむけて革新的技術開発に取り組んでいただき、できるだけ早く、開発した技術を広く社会に普及していただきたいと思います。地球にとって、資源の循環的利用のための技術開発に残された時間は限られているのですから。



ベリタス法律事務所 弁護士 遠藤 幸子

Editional postscript (編集後記)

成友興業株式会社 CSR 報告書 2019 を最後までお読みいただき誠にありがとうございます。

弊社の社会的課題への取組みとその結果を、読者の皆様により伝わりやすくするべく「環境」「社会」「地域」「安全」「社員」という5つの観点で作成いたしました。

今回をもちまして第7版を数える中、本報告書が弊社の社会的活動へのご理解を深めていただく一助となれば幸いです。 ぜひとも、巻末に添付したアンケートにご回答をいただき、本報告書をお読みになったご感想やお気づきの点など 忌憚のないご意見をお寄せいただきたく存じます。

最後になりましたが有識者意見をお寄せいただいた遠藤幸子弁護士に感謝いたしますとともに、今後とも読者の 皆様を含めたステークホルダーの方々の視点を意識し、継続的な業務改善や資質向上を通じて持続可能な企業活動に 努めてまいります。

対象期間 平成29年10月1日~平成30年9月30日(一部期間外の情報を含む)

発行日 平成31年2月

作成部署 成友興業株式会社 CSR 報告書 2019 作成委員会

連絡先 成友興業株式会社総務企画部 TEL 03-3538-4111 FAX 03-3538-4002

E-mail info@seiyukogyo.co.jp





成友興業株式会社 CSR報告書2019 アンケート

成友興業株式会社 CSR報告書2019作成委員会 行

FAX: 03-3538-4002

CSR報告書2019をお読みいただきありがとうございます。 皆様からのご意見を今後の報告書の改善に役立てていきたいと思います。

Q1. 本報告書を読まれての感想を表	お聞れ	かせ下さい。					
[報告書の構成]							
1)分りやすさ		分りやすい		普通		分りにくい	
2)ページ数・情報量		多すぎる		普通		少なすぎる	
報告書の記事の中で不足している	ると思	思われる点がありまし	たらご	゛記入ください。			
()	
[取組内容]							
3)e Synergy System		評価できる		普通		評価できない	
4)環境のために		評価できる		普通		評価できない	
5)地域・社会のために		評価できる		普通		評価できない	
6)安全・社員のために		評価できる		普通		評価できない	
特に評価できる(もしくは評価でき	きない)ところはどこでした	か?				
()	
Q2. 本報告書のことをどちらで知りましたか?							
□ 当社ホームページで □ インターネット検索で □ 当社営業担当より							
□ マスメディア()		□ ~ (の他()	
Q3. ご意見·ご感想などご自由にご	記入	ください。					
ご協力いただきありがとうございました。差し支えなければ下記にもご記入をお願いします。							
ご住所 〒							
ご氏名							

[情報の取扱いについて] 個人情報は、本アンケートに関する連絡のみの利用として社外への公表・提示は致しません。